

酒田市環境保全実行計画 平成 20 年度年次報告書

酒田市役所の取り組み

市役所の事務事業から排出される温室効果ガスの量を削減し、環境への負荷を低減するために「酒田市環境保全実行計画（平成 18 年 3 月）」を策定しました。

全施設で省エネに取り組むことで、平成 18 年度から平成 22 年度までの 5 年間の温室効果ガス排出量を平均で 5%削減（基準年：平成 16 年度）することを目標としています。

平成 22 年度中に改定する予定です。

また、物品等を購入する際に環境に配慮したものを選択する「グリーン購入」を推進していきます。

酒田市役所の目標

「温室効果ガスの排出量を 5%削減します。」
（基準年：平成 16 年度）
「グリーン購入を推進します。」

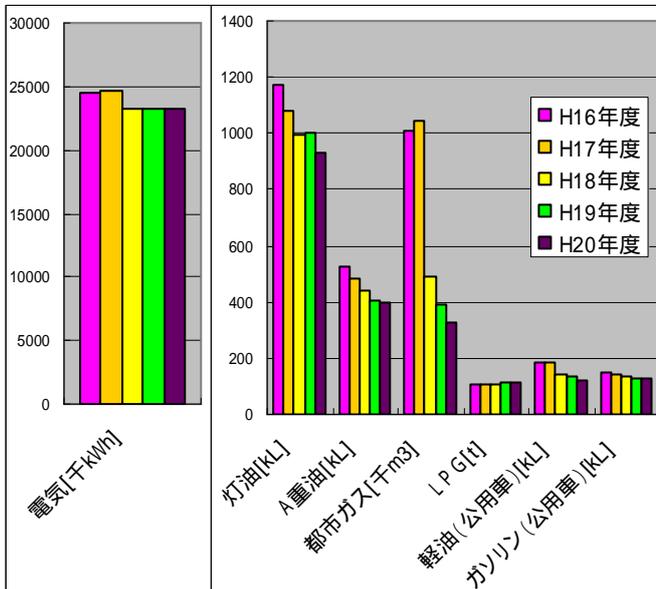
市役所の燃料使用量

平成 20 年度の市役所の燃料使用量は、平成 16 年度比で電気が 5%、灯油・A 重油が 20%以上、軽油・ガソリンが 15%以上削減されました。

なお、都市ガスについては平成 18 年度に熱量変更が行われたことで使用量は半減しています。

平成20年度の気候は平成16 年度に比べ、夏は涼しく冬は暖かい傾向にあり、職員や施設利用者の省エネの取り組み効果が燃料使用量の削減につながっています。

市役所の燃料使用量の推移（平成 16～20 年度）

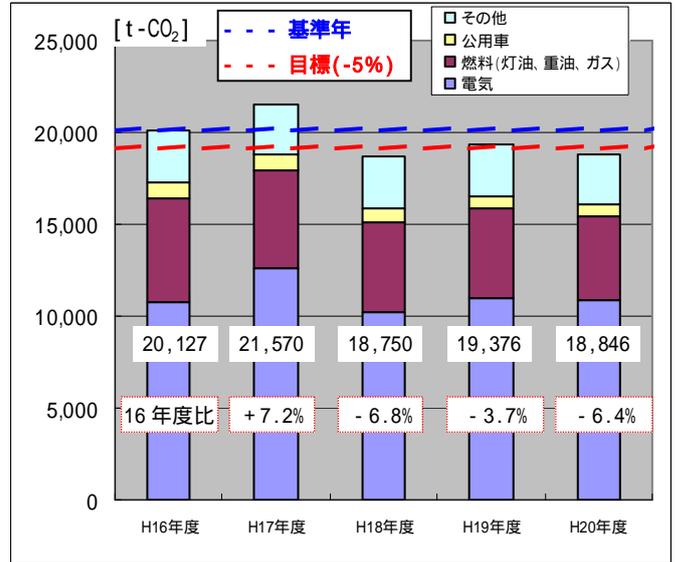


市役所の温室効果ガス排出量

取組結果	6.4% (平成 20 年度)
	5.6% (平成 18~20 の 3 年間平均)

燃料使用量から温室効果ガス排出量を算定した結果、平成 20 年度の温室効果ガス排出量は平成 16 年度と比較して 6.4%削減されました。平成 18 年度から平成 20 年度の 3 年間の温室効果ガス排出量平均では 5.6%削減されました。

市役所の事務事業から出る温室効果ガス総排出量の推移



目標の達成に向けて

平成 22 年度までの目標の達成に向けて、今後ともエネルギー使用量を削減し、環境への負荷の低減に取り組んでいきます。

特に、温室効果ガス排出量の大半を占める電気使用量については、引き続き抑えていくことが大切です。そして、気候に左右されやすい燃料の使用についても、クールビズやウォームビズをはじめとした冷暖房に頼りすぎない職場環境作りを推進することで、平成 20 年度と同等の使用量に抑えていくことが重要です。

また、省エネ以外の取り組みも推進します。平成 19 年 7 月には、家庭から出る廃食用油を新たに分別回収し、これをもとに BDF（バイオディーゼル燃料、軽油の代替として使用可）の生成を始めました。平成 20 年度は 21,736 L の BDF を生成し、ごみ収集車など市の公用車の燃料に利用することで軽油の使用量が抑えられています。

てんぷら油をリサイクルした燃料(BDF)で走っています

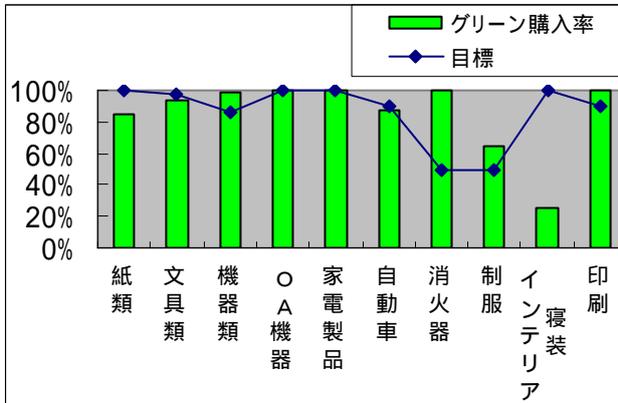


平成 20 年度のグリーン購入実績

国等による環境物品等の調達方針に倣い、環境に配慮した物品の調達に取り組みました。

全体としての成果は、紙類の古紙配合率偽装問題により平成 19 年度 (97.6%) より低下しましたが、グリーン購入率は 86.2% (物品の購入数を基に計算) となっております。

平成 20 年度 グリーン購入率



今後も次の様な取り組みをしていきます。市民のみならずにおかれましては、市役所の環境保全に関する取り組みにご理解とご協力をお願い致します。

電気

・照明はこまめに消します

休み時間や時間外など、人のいない時間帯に消します。

・電化製品・OA機器を適正に使用します

長時間使わない機器は電源を切ります。更に待機電力の削減にも努めます。

燃料

・冷房時の室温は 28℃、暖房時の室温は 20℃

冷暖房に頼り過ぎない職場環境をみんなで作っていきます。



・ガス機器の使い方に気をつけます

ガスコンロを使うとき、やかんなどの大きさに合わせてこまめに調節をします。給湯器を使用する際も、なるべく低温で行います。

公用車

・エコドライブで安全運転を

時間と気持ちにゆとりを持ち、ふんわりアクセルを心がけます。

環境への負荷低減

・ごみの減量とリサイクルの推進

環境にやさしい製品を購入 (グリーン購入) することやペーパーレスにより循環型社会の形成を推進します。



地球温暖化の防止に向けて

～私たち一人ひとりが主役です～

地球温暖化を防止するためには、私たち一人ひとりがそれぞれの立場で行動していかなければなりません。

でも、最初から地球のためにがんばろうと考えると、問題が大きすぎて自分がしていることの効果も目に見えないので、長続きするのはなかなか難しいのではないかと思います。

では、例えば省エネならどうでしょうか。これなら自分のお財布にも効果が現れるので、実践したことが実感できます。

「やって得する、楽しい省エネ」

省エネは一度始めるとすぐにクセになります。まずははじめの一步を踏み出してみることが大切です。

次の例を参考に、みなさんも一緒に楽しみながら省エネに取り組んでみましょう。

- ・冷房時の室温は 28℃、暖房時は 20℃ を目安に温度調節をこまめにしましょう。

- ・使わない電気製品は主電源を切る、またはコンセントを抜く。

- ・照明はこまめに消灯する。



- ・一家団らんし、みんな同じ部屋で過ごす。

- ・給湯器の温度設定はなるべく低くする。

- ・お風呂は家族が時間を空けずに続けて入る。

- ・エコドライブを心がける。

- ・外出時にはマイバッグやマイ箸を持参する。



- ・不要なものは買わない、もらわない。

- ・ごみの分別、リサイクルの推進を心がける。

-酒田市環境保全実行計画 平成 20 年度年次報告書-

<お問い合わせ>

〒998-0104

山形県酒田市広栄町三丁目 133 番地

酒田市環境衛生課

TEL:0234-31-0933 FAX:0234-31-0932

E-mail:kankyo@city.sakata.lg.jp